



学校だより 2023

Believe You Can

佐世保市立祇園中学校

学校だより

(令和5年特別号)

文責 校長 田雑 健

令和5年10月10日(火)発行

祇園中校訓 : 「**理性 創造 尚志 自彊**」

目指す生徒像 : 理性:義務を果たす生徒 創造:意気盛んな生徒 尚志:思いやりのある生徒 自彊:忍耐強くやりぬく生徒

「<E>動画」って?

タイトルの「<E>動画」とは、一体何なのか。そもそもどう読むのか。謎が謎を呼ぶというほど大げさなものではありません。「かっこいいだろう」と読むそうで、これは長崎県教育委員会が英語発信力強化事業の一環として取り組んでいるものです。長崎県にルーツをもち、国内外で活躍する方をゲストティーチャーに招いて特別授業を行い、子供たちの英語学習への意欲を高めることを目的としています。要は現在グローバルな人材として活躍している方に大いに語っていただき、その姿を動画にして、小中学生や保護者のみなさんに見てもらって、「よし、私もがんばろう!」と気持ちを高めてもらおうという取組です(「要は」以下は私(田雑)の受け止め方なので、違っていたら県教委の皆様申し訳ありません)。

ここまでお読みいただいた方の中に、「うん? 英語発信力強化事業? どこかで聞いたような…」という方がいらっしゃれば、うれしい限りです。本紙5月2号、9月4号で紹介した「Believe You Can」です。その記事の中で本校が県教育委員会から英語発信力強化事業中の「先進モデル校」として令和5年度~7年度の3か年間研究に取り組むよう指定をいただいたことをお伝えしました。まさにその事業です。

実は今回の<E>動画と取組は違うのですが、関連があるということで、<E>動画撮影!本目の舞台として祇園中学校に白羽の矢が立ったのです。

…で、特別講師は?

<E>動画撮影の舞台としてお声をかけていただき、特別講師による特別な授業を受けられる機会は滅多にない、これは有難い機会だと思い、お話をお受けしました。

説明をうかがっていく中で、特別講師として「**長崎県の大石賢吾知事**」が来校されますと聞かされました。一瞬「あ、そうですか」と軽く受け止めてしまったのですが、我に返って「なんと、本校に現職の県知事が来校され、しかも授業をされる…」とびっくりした次第です。

ちょこちょこ準備を

それやこれやで、授業日が10月3日(火)と決まり、6校時に50分間、しかも普通に一般教室で授業をしていただくという内容で準備を進めることとなりました。

『特に準備らしい準備はせず、自然体で知事をお迎えする』そう言いきれればそれはそれで一つの見識かと思いますが、さすがに私(田雑)はそこまでの境地に達しておらず、あたふたしていたのですが、本校のスタッフ、そして何より生徒諸君が頑張ってくれて準備を進めることができました。



いよいよ当日

10月3日(火)を迎えました。晴れて、涼しげな風も吹きとても過ごしやすい天気です。

午後になり、動画撮影スタッフやお世話をいただく県教委、市教委の先生方が続々到着。お話をしている内に14:00を迎えました。予定通りに知事が到着され、校長室で授業の打ち合わせとなりました。私(田雑)はご挨拶したのち校長室の隅の方に待機していました。知事は「どうぞ皆さんご自身のお仕事をなさってください。お気遣いなく」と声をかけてくださいました(もちろん、「では失礼します」といって仕事ができるほど、私は大物ではありません)。

14:50に校長室を出て、教室へ。実は15:00授業開始予定でしたが、学級の生徒全員が静かに着席して待っていたので、定刻より早く授業が始まってしまいました。しかし、動揺することなく生徒全員元気に挨拶し授業が開始されました。

県教育委員会の先生が進行役を務められ、知事の紹介等をされた後、知事のお話が始まりました。(以下の内容は田雑のメモに基づき起こしたもので、その文責は田雑にあることを予め申し添えておきます)

「英語×チャレンジで広がる世界」をテーマに、生きてきた中で、中3の君たちからすれば、現在の知事の年齢に達する25年後の自分を想像しながら、決断で世界が変わるといふ、生き方の一例として聞いてくれればというところから始まり、生い立ちへと話が進みました。

五島市のご出身で地元富江中学校卒業後、長崎北高校への進学を決断。親元離れての一人暮らし。そこで勉強とラグビーに打ち込まれ、大学は何とアメリカへ。でも渡米直後、英語は苦手で対面なら何とかな



が、電話でのやりとりなどでは苦勞したとのお話をうかがい、生徒もちょっとほっとした表情に。

アメリカの大学で研鑽を積まれた後、アメリカに残るか日本に戻るかを悩み決断されて日本へ。長崎大学熱帯医学研究所から、千葉大学に進まれ医師国家試験を受験。2か月の頑張りで成績をぐっと向上させて見事合格され、医師として勤務。その後医療現場での経験から「患者さんが安心安全に暮らせるようにすることも大事」と考え、行政の道へ。厚労省に医療技官として勤務されはじめて、新型コロナ対応に追われる毎日となり、多忙を極めるも様々な体験を積み、いよいよ政治の道へといった内容で、途中写真の紹介も織り交ぜながら、とても分かりやすく話をしてくださいました。お話の最後に、

○新しいこと、難しいことは毎日起きる。各場面で思い悩んで正解が分からなくても、諦めず、全力でやってきて今がある。主人公は自分自身。生き方を一人で決める必要はない。周りの意見もよく聞いて、そのうえで自分が決めたことを全力で頑張ろう。自分の生き方、責任を取るのも自分自身。頑張った分だけついてくる。

○生き方の選択肢はたくさんある。視野を広げて、チャレンジしよう。可能性は無限大、やればできると信じぬくこと。若さは可能性。

○長崎県を好きでいてほしい。ふるさと長崎県を誇りにして楽しい人生をおくってください。

とのメッセージをいただきました。

ありがとうございました

授業後、事前をお願いしていた学級全員での記念写真を撮影して終わり…と思いきや、知事から「せっかくなので一人一人と記念写真を」とお声かけくださり、急遽それぞれが思い思いのポーズをお願いしての記念撮影となりました。

公務ご多用な中、来校いただき特別講師として授業をしていただいた大石知事様には改めて厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。

また、お世話をいただきました関係各位に厚く御礼申し上げます。